

激発する不当処分を許すな

当局=動労本部・革マル連合による 国鉄労働運動つばし弾劾！

日刊 動労千葉

83. 2. 5

No. 1259

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

昨年七月に臨調基本答申・「緊急11項目」が発表されて以降、国鉄当局は「バス廃止」「現協改悪」をはじめとする、既得権剥奪＝国鉄労働運動解体攻撃を強めてきましたが、その一方でかつてない不当処分攻撃（昨年12月の一カ月間だけでも五名の解雇）を全国で乱発してきています。今日、全国的にかけられている悪らつな処分の実態を明らかにするとともに、われわれは闘いと組織体制の強化をもって、処分乱発を通じて戦闘的国鉄労働運動解体を策す敵のこうした狙いをうちくだいていかなばなりません。

実例一 盛岡鉄道管理局

国労の57・11ダイ改合理化反対闘争に対し、盛鉄局は十一月三〇日、「業務の就労を拒否した」として、国労盛岡地本書記長の停職二カ月をはじめ、七一名に早々と不当処分を発令してきました。

実例二 釧路鉄道管理局

十二月十二日、「仲裁完全実施要求」とかかれた組合のビラを当局管理者が不当にも撤去していたことに対して、組合員が当然の抗議を行ったところ、釧鉄局は「助役に暴行した」と全くのデッチ上げで十七日に二名の国労の仲間にも不当な懲戒免職処分を通告してきました。

実例三 鹿兒島鉄道管理局

十二月一日以降、無協約状態に突入している中で発生したレール亀裂事故に対し、現場管理者が現協無しで作業させようとした。作業の具体的内容・手順・労働条件等について国労当該分会が当然にも現場協議を要求したが当局が拒否する中で話し合いがつかず、勤務時間が終了したため帰宅しました。これに対して、鹿鉄局は十二月二日、「作業を率先して妨害した」として、国労鹿兒島保線区分会長の停職六カ月をはじめ、十一名の仲間にも不当処分を発令してきました。

実例四 仙台鉄道管理局

57・11ダイ改闘争の中で国労福島分会と当局の間で「人のいない時は管理者がふる掃除をする」事が確認されました。ところがこれを拒否した管理者に抗議した組合員に対し、仙鉄局は十二月二三日にも不当にも懲戒免職処分を通告してきました。

実例五 門司鉄道管理局

門鉄局は十二月二七日、12・16ストへの参加状況を確認にきた管理者と組合事務所を話した組合役員に対し「助役を監禁した」とのデッチ上げをもって国労筑豊分会役員二名に対し懲戒免職の不当処分を付けてきました。

これら一連の不当処分攻撃の特徴は、第一に従来からの慣行・既得権・当然の組合活動そのものに対して管理者の側から意図的に攻撃をかけ、第二に「処分理由」なるものは全て当局のデッチ上げであり、第三に極めて異例の早さで異例の過酷な重処分をみせしめ発令してきているということです。

国労中央闘争委員会もこの当局の意図的・政治的

処分乱発攻撃を重視し「国労敵視の意図的組織破壊攻撃。従来からの労資協調的關係を一掃してその不当性と徹底的に闘う」との態度を明らかにし、現場の国労の仲間も一層不屈の職場抵抗闘争をもって反撃していくことを誓って闘っています。われわれは全国的に共闘・連帯の輪を拡げ、職場闘争と結合して敵の攻撃の基軸＝臨調攻撃・国鉄労働運動つばし＝軍事大国产化・戦争体制づくりの攻撃を大きくぶち破る政治闘争を合わせ強化していかなければなりません。

当局＝動労「本部」革マル一体の攻撃

実例六 仙台鉄道管理局と動労「本部」

ところが、ここに、一点異なる弾圧事件の例があります。すなわち、仙鉄局は九月十七日、新幹線仙台第一運転所支部の二名の動労の仲間に対し「四カ月間にわたる一連の行為」「助役への暴言」といったデタラメな理由をもって、各々懲戒免職・停職十カ月の不当処分を付けてきました。二名の仲間の行動は、当局の「職場規律」攻撃に対し、労働条件・年休等、の当然の権利を要求したものであり、あまりにも当然な職場権利闘争です。動労仙台地本の仲間は直ちに不当処分反対闘争に立ち上りました。ところが動労「本部」は、十一月末の第一一八回中央委で、驚くべきことに「両君の行動は①機関決定無視、②個人的行動、③支部団結に阻害、④外部からの組織破壊攻撃に内部から呼応する行為として、統制処分に値する」との決定を行い、犠牲適用と裁判闘争の取り組みを拒否しました。この異常な「動労仙台弾圧」組織統制・破壊攻撃の基本的構図が浮び上ってきたといえます。

動労「本部」革マルは、なんと、当局の処分は正当であり、両君および処分に反対して闘おうとしている仙台地本の仲間の方針の方が誤っており、自己批判して方針を転換しない限り犠牲を適用しないばかりか組織統制処分をするドゥ喝して屈服を迫っているのです。なんという卑劣で反動的なやり方でしょう。われわれは、ブルトレ裏切り以降ますます反動的に純化してきている「動労を尖兵にして、動労千葉・国労・闘う労働者を叩きつぶす」という臨調＝当局＝動労「本部」革マル連合（反動太田田政）による国鉄労働運動解体攻撃を怒りをこめて実力で粉碎し、前進しようではありませんか。